# 平成29年度　事務事業評価シート（詳細）

※平成28年度に実施した事業を評価しています

## 基本情報

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名 | 長寿祝い金支給 | | | | | | | | | |
| 担当部署 | 福祉部 | | 高齢者いきがい課 | | | | | | 事業コード | 8 |
| 所属長 | 渕名　淳一 | | | | | | | | 事業区分 | ソフト事業 |
| 予算事業名 | 長寿祝い金等 | | | | | | | | 新規・継続 | 継続 |
| 予算事業コード | 会計 | 10 | 款 | 03 | 項 | 01 | 目 | 05 | 事業開始年度 | 平成21年度 |

## 1．事業の位置付け、関連事業及び法令による実施義務等（Plan）

第四次川越市総合計画上の位置付け（太枠内）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 基本目標(章) | 第2章 | 住み慣れた地域で、一人ひとりが健康でいきいきと安心して暮らせるまち | 法令による実施義務 | 義務ではない |
| 施策 | 5 | 高齢者福祉の推進 | 根拠となる法令 | なし |
| 取組施策 | 3 | 介護予防・生活支援の推進 | その他実施根拠（条例、要綱等） | 川越市長寿祝い金支給条例 |
| 関連事業 | なし | | | |

## 2．事業の目的と概要（Plan）

| | |
|---|---|
| 実施主体 | 市実施（直営） |
| 対象（誰・何を対象に） | 支給を受ける年度の9月1日(基準日)において、77歳、88歳、99歳以上で、引続き1年以上本市に住所を有している者。 |
| 目的（対象をどのようにしたいか） | 長寿祝い金を支給することにより、その長寿を祝福し、もって高齢者の福祉の増進を図ることを目的とする。 |
| 事業の概要（活動内容、実施手段・方法など） | 原則9月中に、各対象者に対して、長寿祝い金を口座振込支給により実施する。併せて、長寿祝い状も贈呈している。<br>支給金額は、77歳が1万円、88歳が2万円、99歳が3万円、100歳以上が5万円である。 |

## 3．前年度に立てた計画（Plan）

条例に基づき、対象者に対して、9月に長寿祝い金を支給できるよう事務を行う。
対象要件や事業内容等の事業の在り方について、他市の状況等を踏まえつつ検討していく。

## 4．取組実績（Do）

①9月中に9割以上の対象者に対して、長寿祝い金を支給することを可能とした。
　（年齢別対象者内訳　77歳：3,293人、88歳：933人、99歳：50人、100歳以上：115人）
②平成28年12月に中核市等に照会を行い、他市の長寿祝い金支給事業等の実施状況を把握し、事業の在り方について検討した。

## 5．実施にかかるコスト（Do）

（単位:千円）

⑴　支出の部

| | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度(見込額) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 人件費　A | 3,769 | 3,750 | 3,978 | 3,978 | |
| 正規職員（1年間の従事人数） | 0.40人 | 0.40人 | 0.40人 | 0.40人 | |
| 臨時職員（1年間の従事人数） | 0.71人 | 0.66人 | 0.75人 | 0.75人 | |
| 事業費　B | 58,523 | 62,029 | 61,208 | 68,169 | |
| 報償費 | 878 | 880 | 884 | 918 | |
| 需用費 | 301 | 374 | 523 | 578 | |
| 役務費 | 1,174 | 1,215 | 961 | 1,193 | |
| 負担金、補助金及び交付金 | 56,170 | 59,560 | 58,840 | 65,480 | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 総支出（A＋B） | 62,292 | 65,779 | 65,186 | 72,147 | |

⑵　収入の部

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 使用料・手数料 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他特定財源 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 一般財源 | 62,292 | 65,779 | 65,186 | 72,147 | |
| 総収入 | 62,292 | 65,779 | 65,186 | 72,147 | |

## 6．指標による分析（Check）

### ⑴ 活動指標

| 評価指標 | 単位 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度（予定） | 単位当たり費用（下段は前年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 支給者数 | 人 | 4,242 | 4,477 | 4,391 | 5,040 | 14.85 |
| 指標の定義・説明 | 長寿祝い金を支給した人数 | | | | | 14.69 |
| | | | | | | #DIV/0! |
| 指標の定義・説明 | | | | | | #DIV/0! |

### ⑵ 成果指標

| 評価指標 | 単位 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度目標値 | 将来目標値 | | 単位当たり費用（下段は前年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 支給金額 | 千円 | 56,170 | 59,560 | (目標) 58,990<br>(実績) 58,840 | 66,320 | 31 年度 | 73,980 | 1.11 |
| 指標の定義・説明 | 長寿祝い金の支給金額 | | | | | | | 1.10 |
| | | | | (目標)<br>(実績) | | 年度 | | #DIV/0! |
| 指標の定義・説明 | | | | | | | | #DIV/0! |

## 7．評価（Check）

| 項目 | 評価 | 評価コメント及び課題等 |
|---|---|---|
| 必要性 | | 市が関与することが妥当であるか、時代の潮流や市民ニーズに対して目的や内容が合っているか |
| | C | 民間での実施は困難、また、長寿者が永きにわたり社会の発展に尽くされたことへの感謝の意を表するという面で、行政が実施する意義は一定程度あると言える。しかしながら、平均寿命の延伸、他市水準より過剰である事業実態、事業の緊急性の有無から考慮すると、必要性に課題があると考えられる。 |
| 有効性 | | 施策の目標の達成に貢献しているか |
| | B | 高齢者に長寿祝い金を支給し、その長寿を祝福することにより、高齢者が生きがいを持つことに一定程度貢献している。 |
| 達成度 | | 設定した活動・成果指標の目標を達成しているか |
| | A | 辞退者等の数名を除く、ほぼ全対象者に対して長寿祝い金の支給を実施している。 |
| 効率性 | | 民間委託や指定管理者制度の導入は可能か、コスト削減の余地はあるか、受益と負担（補助）の適正化が図られているか |
| | B | 事務については毎年度見直しを行い、効率化を図っているが、祝い状の仕様変更や贈呈方法の見直し等のコスト削減を行うことにより、一層の事務効率化が図れる。 |
| 総合評価 | C | 事業目的に則して効果を検討した場合は、長寿祝い金の支給金額が増加するにつれて、高齢者福祉の増進に寄与しているという結果となる。しかしながら、施策の目的や市の財政状況を考慮した場合に、他事業とのバランスや、他自治体の実施状況、社会情勢を踏まえた上で、事業の在り方を検討する必要性がある。 |

## 8．今後の方向性及び今後の取組（改善策など）（Action）

| 今後の方向性 | 縮小 |
|---|---|
| 29年度 | 事業の見直しを検討する。 |
| 30年度 | 事業の見直しを実施予定。 |

【参考】

⑴ 比較参考値（他市での類似事業の例など）

中核市及び県内20万以上人口自治体において、平成28年12月調査時点で55市中36市が同様の事業を実施しているが、近年は当該事業の縮小や廃止等の見直しを行っている自治体が多い。77歳についても、現金もしくは商品券を支給する自治体は平成29年4月時点で、本市を含めて8市のみとなった。

⑵ これまでの見直しや改善等の経過

平成12年度から実施していた健康長寿奨励金事業の対象者等を見直し、平成21年度から現在の長寿祝い金事業を実施している。また、平成26年度から支給方法を現金から口座振込に変更している。